

量子技術イノベーション拠点への 東海国立大学機構の追加について（案）

「量子未来産業創出戦略」（2023年4月14日統合イノベーション戦略推進会議決定）においては、東海国立大学機構（以下、「機構」という。）を量子技術イノベーション拠点への追加候補*として記載している。

こうした背景に基づき、量子技術イノベーション会議の構成員等による機構のサイトビジット**を令和5年5月1日に実施した。サイトビジットにおいては、機構等から、活動内容等と今後の方針について説明を受けた。

今般のサイトビジット等を通じて、機構が量子未来産業創出戦略に基づく新たな拠点として期待される活動を推進できることが確認された。

以上を踏まえ、機構を正式に量子技術イノベーション拠点に追加することとする。なお、サイトビジットにおいて活動の特徴を示す拠点名称にしてはどうかとの意見があったことから、「量子化学産業創出拠点」（仮称）とする。量子技術イノベーション拠点推進会議に周知し、同推進会議の活動に加わることとする。

* 「量子未来産業創出戦略」（抄）

6. 取組の方向性 （5）イノベーション基盤

○量子技術イノベーション拠点の強化等

「量子フロンティア産業創出拠点（仮称）」（東海国立大学機構）（追加候補）

- ✓ 我が国の産業が強みを有する化学・材料等の分野の技術と量子技術の融合により、産学官連携の下で、新たな切り口で化学・材料等の先導的な技術や新たな事業・サービスのフロンティアを開拓し、新産業の創出や産業活動の高度化を支援する。さらに、化学・材料分野と量子技術分野の双方に精通し、分野間の連携・融合の担い手となる人材の育成も推進する。

** 参考資料 1（サイトビジット概要）